

2020年4月7日

ちば南部地域若者サポートステーション
利用者各位

新型コロナウイルス感染防止のための対策

コロナウィルスの感染仕方

<感染の仕方>

一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。

飛沫感染：感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。

接触感染：感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

上記の厚生労働省からの報告に基づき、ちば南部地域若者サポートステーションでは次の対策をとることに決定しました。

1 利用時はマスクを着用すること。

マスクがご自身で用意できないときは当所で用意した簡易マスクを着用すること。（簡易マスクは使用後必ず捨てること）

2 入室時は当所で設置した除菌ペーパーで手指の消毒をすること。

3 使用前、使用後にパソコン、机、ペン（当所所有物）はご自身で先の除菌ペーパーで消毒すること。

4 体調の不調、特に体温が37度以上の時は自主的に自宅で休養してください。

以上の点をご承諾いただき、安全安心してサポートステーションが利用できるようご協力をお願いします。